

2024年6月28日

「当院 AST カンファレンスにおける実態調査」

へのご協力をお願い

1. 研究の背景と目的

薬剤耐性菌の問題は国際社会でも大きな課題となっており、対策として抗菌薬の適正使用が重要とされています。

当院においては、2021年11月よりAST（抗菌薬適正使用支援チーム）を設置し、抗菌薬適正使用の支援に取り組んでいます。ASTの活動の一環として、週1回多職種でカンファレンスを実施し、支援が必要とされた方については、主治医に提案などを行っています。

今回、これまでのASTカンファレンスでの活動内容を調査することで、今後の業務改善に役立てることを目的としました。

2. 研究対象者

2021年11月1日～2023年4月30日の間に、ASTカンファレンスで対象となった抗菌薬適正使用のモニタリングを行った患者さんを対象とします。比較として、ASTカンファレンス以外でAST担当薬剤師が抗菌薬適正使用について提案を行った患者についても対象とします。

3. 研究の方法

カンファレンスの対象件数、対象となった経緯の内訳、主治医にフィードバックを行った件数、内容、介入変更された割合などについて、電子カルテおよびAST議事録の内容をエクセルシートに集約し調査します。比較対象についても介入内容をエクセルシートに集約し、調査します。

4. 臨床研究を実施することにより期待される利益および予想される不利益

本研究は既存情報を用いた研究であり、直接的な利益は生じません。しかし、研究成果により今後業務改善され、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。不利益に関しては、研究対象者に対して介入を伴うことがないため、不利益は生じません。個人が特定されることのないよう情報の取扱いに配慮します。

5. 同意と拒否

本研究の実施についての情報を山口県立総合医療センターのホームページに公開することにより、直接の説明や同意をいただく手続きに代えさせていただきます。対象者に含まれていると考えられ、本研究に同意をいただけない方は担当者までご連絡ください。

6. 担当者

施設名：山口県立総合医療センター（代表：0835-22-4411）

責任者：薬剤部副部長 渡邊 太郎